

平成 25 年度秋季特別展

# 美酒発掘



重要文化財 越州阿青磁水注  
伝 京都府宇治市木幡金原出土  
(京都国立博物館所蔵・提供)

高札木簡  
奈良県平城宮遺跡司推定地出土  
(奈良文化財研究所蔵・提供)

2013年10月5日(土) ~ 11月24日(日)

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館・文化庁  
後援 読売新聞大阪本社・NHK 奈良放送局  
特別協力 東京国立博物館・奈良県酒造組合・正暦寺・株式会社 瀧川寺社建築



須惠器  
奈良県四条古墳群 8 号墳出土  
(当研究所蔵)



●近鉄橿原線 畷御陵前駅下車 西へ徒歩 5分  
●近鉄南大阪線 橿原神宮前駅下車 北へ徒歩 15分

京都府長岡京の遷都を付けた種物の想像図  
(部分：長岡京市埋蔵文化財センター提供)

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館  
THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE  
●〒634-0065 奈良県橿原市畷御町 50-2 ●Tel 0744-24-1185 ●Fax 0744-24-1355 ●URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>  
須惠器大甕 京都府長岡京出土 (京都府教育委員会所蔵・提供)

# 美酒発掘



1

大神神社は記紀万葉の時代から「美酒(味酒)」三輪の地の社としてその名が知られ、現在では全国の酒造元の信仰を集めています。奈良市の正暦寺は室町時代の清酒発祥の地であり、現代の酒造方法の礎が考案されました。

日本最古の酒の記録は、魏志倭人伝に「人性嗜酒」と記されているように、日本列島に住む人々と「酒」には歴史的にも深いつながりがあります。「日本酒」の原材料である米は弥生時代に本格的な栽培が始まり、日本酒造りに欠かせない甕を使った蒸す調理方法は古墳時代の中頃に普及します。また大神神社の御神体となっている三輪山では、古墳時代から本格的な祭祀が始まります。飛鳥時代の葡萄の存在も、酒に関連して注目できます。奈良・平安時代には酒造りの役所が設置され、酒は儀式・嗜好・薬用の場面で登場します。室町時代以降には嗜好の酒が普及して、酒造業が隆盛し、江戸時代に至りました。これら各時代の歴史的伝統は今なお現代の社寺や酒造元、私たちの生活の中にも受け継がれています。この「酒」文化の歴史的変遷と実像を、最新の考古学的成果を中心に紹介し、日本の美酒が辿ってきた歴史に迫ろうとするのがこの展覧会です。

また近世・近代の民俗資料、酒造元で愛用された酒造道具を陳列し、奈良県内の日本酒の酒造元も紹介することで、「酒」の歴史的背景と、現在も続く日本酒文化を再発見して頂くことをねらいとしています。



2



3

1. 奈良県指定文化財 甕甕 石上神宮所蔵・提供
2. C-147号平地式建物出土土器 黒井峯遺跡出土 波川市教育委員会所蔵・提供
3. 重要文化財 緑釉陶器 群馬県山王院寺出土 群馬県立歴史博物館所蔵・提供
4. 文書木簡 平城宮造酒司推定地出土 奈良文化財研究所所蔵・提供
5. 日本山海名産圖會「酒楽歌」奈良県立図書情報館所蔵・掲載許可済



4

## ■フォーラム (聴講無料・申込み不要)

10月20日(日) 『美酒芳香～神事に香る奈良の酒～』

時間：午後1時～午後5時終了予定 (正午開場)

会場：当研究所 講堂

講師(五十音順)

- 石上神宮 禰宜 森好央氏
- 大神神社 主任研究員 山田浩之氏
- 春日大社 権禰宜 中野和正氏
- 奈良県立民俗博物館 学芸員 鹿谷勲氏
- 奈良県産業振興総合センター 総括主任研究員 清水浩美氏
- 奈良豊澤酒造株式会社 専務 豊澤孝彦氏

司会進行：菅谷文則(当研究所 所長)

## ■研究講座 (聴講無料・申込み不要)

時間：午後1時～午後4時15分終了予定 (正午開場)

会場：当研究所 講堂

### 10月6日(日) 第1回研究講座

- 中島和彦氏(奈良市教育委員会 主任)  
「奈良町遺跡と酒造り  
—奈良町遺跡発見の埋蔵遺構の検討—」
- 廣岡孝信(当博物館 主任学芸員)  
「発掘されたお供え・葉・嗜好の酒」

### 11月10日(日) 第2回研究講座

- 古谷毅氏(東京国立博物館 主任研究員)  
「奈良県三輪山祭祀遺跡群と古墳時代の神マツリ」
- 鶴見泰寿(当研究所 主任研究員)  
「古代人と酒」

## ■展示解説 (聴講無料・申込み不要 ※入館料が必要です)

日時：10月6日(日) / 11月10日(日)  
各回とも午前10時30分集合(約1時間)  
場所：当博物館 特別展示室ほか

## ■連携イベント (申込み不要・詳しくは9月中旬にホームページ掲載予定)

### ◆『拝観 菩提山正暦寺 ～清酒発祥の地～』

正暦寺住職 大原弘信氏による講演と重要文化財福寿院客殿の拝観。

日時：10月14日(月：体育の日) 午前9時30分～受付。  
午前10時開演。正午終了予定。  
集合場所：正暦寺 福寿院(奈良市菩提山町157)  
参加費：大人1名500円(拝観料込み)。

### ◆『美酒発掘 ～見どころ解説と酒蔵見学～』

(博物館受付で当日正午より配布する整理券が必要。各日とも先着100名。)

見どころ解説の後、酒蔵へご案内します。

日時：11月9日(土)、11月16日(土)、11月23日(土)  
午後1時30分集合、午後3時30分終了。  
集合場所：博物館受付前。  
会場：当博物館の特別展会場、喜多酒造株式会社の酒蔵。  
参加費：見どころ解説には入館料が必要。  
酒蔵見学は成人のみ1人500円。未成年は無料。

### 奈良まほろば館 関連イベント (詳しくは9月中旬にホームページ掲載予定)

奈良まほろば館2階(東京都中央区日本橋本町1-6-2日本橋本町162ビル)  
入場無料・期間中無休

- ◆フリーガイド 10月13日(日)～20(日)
- ◆セミナー 10月13日(日) 講師 廣岡孝信(当博物館 主任学芸員)

- 休館日 月曜日・10月15日(火)・11月5日(火)  
ただし、月曜日が祝日の10月14日・11月4日は開館
- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料 大人800円(500円)/高校・大学生450円(350円)  
小・中学生300円(250円) ※( )内は20名以上の団体料金  
ただし小学生未満無料。身体障がい者手帳・療育手帳・  
精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。
- 主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館・文化庁
- 後援 読売新聞大阪本社・NHK奈良放送局
- 特別協力 東京国立博物館・奈良県酒造組合・正暦寺・  
株式会社 瀧川寺社建築